

(公財) 北海道新聞野生生物基金「モーリー通信」刊行のお知らせ

「モーリー通信」は、基金設立7周年の1999年7月に総合自然情報誌の刊行という念願を叶えて発行した北海道ネイチャーマガジン「モーリー」をリニューアルし、再出発しました。

「モーリー」は58号まで発行してまいりました。これまで動植物や野生生物の大小を問わず特集し、全道各地でさまざまな形で野生生物の保護に携わる方々の現状などを伝えてきました。「モーリー通信」はその精神を踏襲しつつも、北海道の野生生物保護のために当基金がどんな活動をしているのかに重点を置いた内容で、当基金関係者や全国の博物館などに広く配布することで、より一層幅広い人たちにお読みいただきたいと思っています。

振り返れば、「モーリー」創刊号の巻頭には当時の東功理事長（故人）が、発刊目的として「一つは当基金がどういう趣旨に基づいて活動をしているのかを正しく伝えること、二つ目は、北海道の自然、野生生物の現状を、この雑誌を通じてきちんと見直す場としたい、ということです。このため『北海道を伝える』ことを、編集の基本とします」と宣言しました。また、創刊号から29号まで編集長を務めた故辻井達一先生も「北海道にも、あるいは北海道だからこそ、野生生物に関わる、あるいは自然に関わる雑誌があっていいはずだ」と、創刊号の編集後記に書いていました。

その思いを受け継いで22年間、執筆者は延べ1200人、総ページ数は3362頁、特集タイトルに「北海道」は29回登場し、徹底的に北海道にこだわってきました。これまでご購入いただいた方々はもちろん、執筆してくださった方々やさまざまな形で携わってくださった皆さまに、この場をお借りして心よりお礼を申し上げ、リニューアルのご挨拶とさせていただきます。

(公益財団法人北海道新聞野生生物基金)